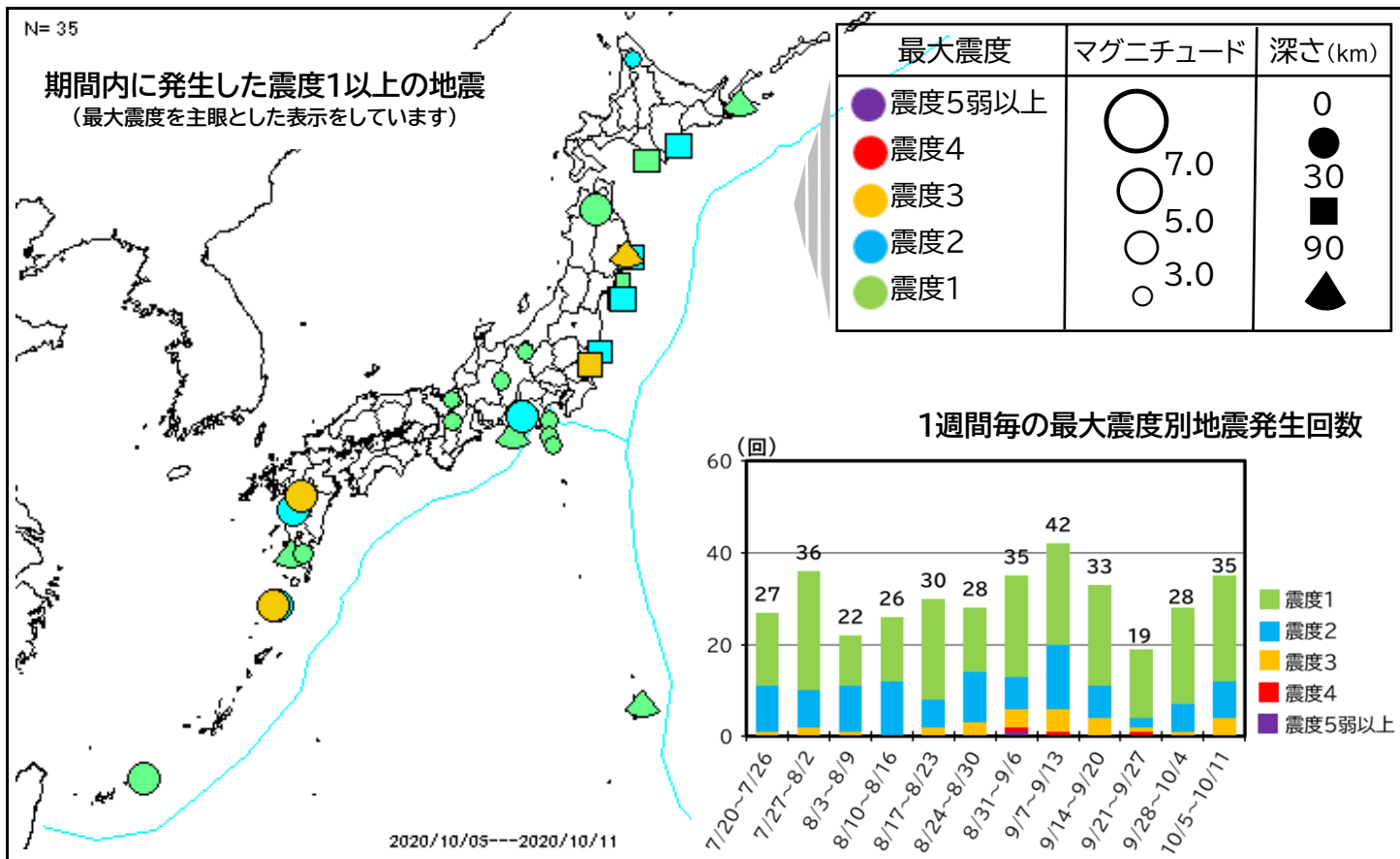


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



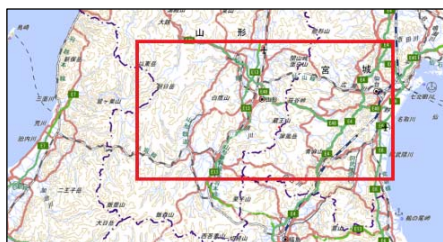
主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が35回発生。最大震度は3 ■
- ・6日15時27分に岩手県沿岸南部で発生した地震(M4.7、深さ94km)により、青森県階上町、岩手県大船渡市及び住田町で震度3を観測。この地震は太平洋プレートの内部で発生したものの。
- ・8日12時34分にトカラ列島近海で発生した地震(M4.1、深さ8km)により、鹿児島県十島村で震度3~1を観測。この地震の近傍では今期間、この地震を含め震度1以上を観測した地震が5回(最大震度3:1回、最大震度2:1回、最大震度1:3回)発生。9月14日~20日の期間中にも震度3~震度1が5回発生しているなど定常的な活動がみられるところ。

トピックス

■ マグニチュードと断層の大きさ ■

- ・今更ですが、地震とは地下で岩盤が急激にずれ動く現象で、ずれ動いた範囲(断層)が大きいほど、大きなエネルギーを持った地震であり、マグニチュードが大きな地震です。
- ・マグニチュードは断層の大きさに比例します。マグニチュードが1増えれば、断層の長さや幅が約3倍になります(面積は、ほぼ10倍)。さらに、断層がずれ動く距離も約3倍になるため、地震のエネルギーは「面積×ずれ動いた距離」は、ほぼ30倍になってしまいます。
- ・M8の地震はひとつの県と同じ位の広さをもつものに対し、M3の地震の断層面は仙台城くらいの広さしかありません。



← 約100km →
M8



← 約10km →
M6



← 約500m →
M3

マグニチュードと断層面の大きさ(赤□)のイメージ図(地図は国土地理院)